

(様式第4号)

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	上田市行財政改革推進委員会 (第2回 情報プラザ部会)
2	日 時	平成20年6月25日(水) 午後2時から4時5分まで
3	会 場	上田市役所 本庁舎3階 第2応接室
4	出席者	小池会長、三井部会長、森田副部会長、斉藤委員、田口委員、武井委員 【欠席】鬼頭委員、小宮山委員
5	市側出席者	金子行政改革推進室長、鎌原係長、星野主査、平田主任 堀内広報広聴係長
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者 0人	記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成20年7月3日

協 議 事 項 等	
1	開 会 (部会長) 第2回の部会ということでよろしくお願ひしたい。
2	議 事 (1) 前回の会議録の確認について (事務局) 前回の会議録についてはホームページで公開するので、訂正があれば事務局に申し出ていただきたい。 (2) 「情報プラザ」の仕組みづくりについての検討 (部会長) 行財政改革大綱と総合計画、上田市情報化基本計画の関係はどうか。 (事務局) 総合計画は上田市のまちづくりの方針を定めた基本的な計画であり、その下に方針を具体化するための基本計画、計画を実施するための実施計画がある。 行財政改革大綱は、総合計画を実施するための新たな経営の仕組みづくりであり、総合計画とは車の両輪的な関係である。 情報化基本計画は、総合計画に基づいた情報分野の施策の計画として位置づけられている。 情報プラザについては、総合計画に基づき、行政情報と地域情報の双方が活用できる仕組みづくりとして情報化基本計画の中で位置づけ、アクションプランで具体的なスケジュールを定めている。 (部会長) 集中改革プランでは平成19年度から情報プラザを実施となっているが、情報化アクションプランではそれよりも遅いスケジュールとなっている理由は何か。 (事務局) 平成19年度からの実施が困難と判断されたため、情報化アクションプランでは平成20年度から開設準備を行うようスケジュールが変更された。 平成21年度までの集中改革プランの中で具体化できるよう皆さんの後押しをいただきたい。 (部会長) 情報プラザの検討が進まなかった原因は組織、体制に問題があったのではないか。 また、前回の議論の中で、初めから大風呂敷を広げてしまっはなかなか議論が進まないことから、最初から完璧なものを求めるのではなくできることから始めるのが大事であるという意見もあった。 (広報公聴係長) 情報プラザの素案について説明。 (部会長) 情報プラザの目的をどう考えているか。 (広報公聴係長) 地域内分権や市民協働によるまちづくりのために地域の情報や活動を積極的に発信することが必要と考えている。

- (事務局) 地域情報というと丸子、真田、武石の地域自治センターだよりに掲載されている情報と捉えられてしまうが、本来は行政情報ではない市民活動における情報ではないか。
地域情報の定義があいまいであることから混乱が起きている。
- (委員) 地域情報というと地域で起こるあらゆる出来事の情報が含まれる。
入ってくる情報を取り扱うだけでは地域間で不公平が生じる。一定の基準を定めて情報が偏らない工夫が必要。
行政がホームページとしてすべての情報を作成するのではなく、詳細な情報は地域の人につくってもらい、そこにリンク設定をかける仕組みも重要。
- (広報公聴係長) 地域情報については、新聞でも地方版のニュースとして掲載している。
地域情報を全て取り扱うということになると新聞と競合することになるので、どのような地域情報を取り扱うかというルールづくりが重要と考えている。
広報うえだに武石地域の情報が掲載されないと信毎に指摘されたことがあったが、上田市全体へのお知らせの割合の方がどうしても多くなっている状況。
情報プラザの仕組みづくりでは、そうした地域バランスを考えることも重要。
最初から全ての地域情報を取り扱うことはできないので、まずは地域協議会や自治会等といった段階から始めたいと考えている。
- (委員) 行政が出す情報は、マスコミの出す情報と違って、全ての人に平等に届くことが重要。
- (部会長) 地域情報の捉え方にあいまいな面があるが。
- (広報公聴係長) 市民が活動している情報というのが一番近いのでは。
- (委員) 地域情報のままで問題ないのでは。
個人レベルの問題ではなく、自治会レベルの問題で考えている。
- (部会長) 情報プラザの実体をどう考えているか。
- (広報公聴係長) 行政情報と地域情報を集約して発信する仕組み。
場所ではなく機能と考えている。
- (部会長) 情報プラザをやることでどのような効果があるのか。
- (広報公聴係長) 今まで表に出てこなかった地域情報が掘り起こされる。
- (部会長) 行政情報についてはどうか。
- (広報公聴係長) 行政情報については整理・分類を進めるので、発信の仕方を高度化できるのではないかと考えている。
闇雲に情報を発信するのではなく、きちんと目的意識をもって発信できる。
- (部会長) 情報プラザはネット上に形成するのか。
- (広報公聴係長) 地域情報がすべてネット化されていれば可能だが、地域情報がどのような形態となっているか考慮する必要がある。
- (部会長) 行政コーナーのように場所をつくって、必要な情報を過去にさかのぼって見られるようなイメージか。
- (広報公聴係長) そうしたものは図書館の機能だと思う。
- (委員) 情報プラザの仕組みづくりについて、市長がわざわざ諮問した理由は何か。
- (事務局) 今までの上田市にない新しい仕組みということで、具体的な内容が決まらずなかなか進まなかったが、委員会に諮問されたことで具体的な形となってきている。
また、市長のマニフェストに掲載された事項でもある。
- (広報公聴係長) 他の市町村等の事例よりも先進的なものとしてイメージしていたため、なかなか具体化できなかった。
- (委員) 手段としては目新しいものではない。情報発信を充実化するもので、情報プラザとしてくるものではないのではないか。
- (会長) 物理的に何かあるというのではなく、概念。

現在は行政情報を単発的に流すだけであるが、行政情報や地域情報を集めることでワイワイと発展するものがあるのではないか。

(委員) 答申については、担当課の作成した素案に委員会として意見をつければいいのでは。

(会長) 担当課の素案に対していい、悪いではなく、集中改革プランが計画的に進められるために、担当課の素案を包含した形で正副部会長の方で答申案をつくって、部会で議論すべき。

(事務局) 部会での意見を踏まえて答申案を作成し、正副部会長にお示ししたい。

(部会長) 今まで行政情報だけを一方的に流しているものを、地域情報も加えて双方向でやろうとしていることは画期的。

(会長) 地域情報が明確でないとすれば、地域情報として地域の活動情報から取り組むように答申することが必要。

情報プラザを場所や手段で限定してしまうと議論が進まないことから、総体的な概念として、できることから取り組むように答申することになる。

担当課では、庁内の各課から出てくる行政情報を一元化することを考えているが、一元化する必要はないのでは。

答申としては、地域情報に的を絞って、できるところから第一ステップとして取り組むよう答申すべき。

(委員) 情報プラザの仕組みづくりの検討が遅れているという点に絞って考えれば、スムーズに答申できる。

(委員) 5W1Hできちんと進捗管理をしてもらわないと。

(会長) 委員会としては担当課が考える情報プラザの中身についていい、悪いを言う立場ではない。

(事務局) 情報プラザの検討が進まなかったのは、情報プラザや地域情報の概念、どのような地域情報を取り扱うのかということが具体化できなかったから。

委員会として明確な形で答申していただければ、後押しをもらって、自信を持って進められる。

(部会長) 委員会としては、情報プラザを検討するための組織や体制づくりについて答申し、情報プラザの内容については行政による検討委員会で審議するものと考えていた。

(会長) 集中改革プランとして進まなかったのは、情報プラザの概念が明確でなかったことから議論が進まなかった。

行政内の体制づくりについては、行政自身が考えるべき。

体制づくりについて言及する場合、単に職員をふやすというのであれば行財政改革の精神に反する。現在ある民間の仕組みなどを活用するように答申すべき。

(委員) 情報プラザというのは、市のホームページや行政資料コーナーに、情報プラザというコーナーを設置するというものか。

(会長) そうしたことも手段の一つ。いろいろな形態が考えられ、手段を限定するものではない。そこに行けば必要な情報が手に入るという仕組みのこと。

行政ではお祭り情報や生涯学習の講師についてデータベースをつくっている。そうしたのも情報プラザの要素として取り入れることができれば。

(広報公聴係長) マルチメディア情報センターやいろいろな担当課でデータベースを持っているができれば統合できればと考えている。

(委員) 情報を欲しい人に必要な情報をつなげてあげるのが情報プラザの役割。それは行政が仲立ちとなってやるべきこと。

(会長) これからの行政の役割は全て自分たちでやるのではなく、仕組みをつくるのが重要になってくる。

(部会長) どんな地域情報を取り扱うかという基準づくりもそうした仕組みづくりに含まれる。担当課とすればどんなことが必要か。

(広報公聴係長) 情報が必要な人に情報の発信者をつなげるとなると、まず仕組みを理解してもらうために広報したり、問い合わせに対応するというように、予算よりも人手の方が必要になってくると思う。

(委員) 情報をオープンにすることも必要だが、犯罪などに悪用されないようにきちんとルールをしていくことが重要。

(会長) 情報プラザについては、取り扱いによっては市長が記者会見を開くような非常にインパクトのある話になる。

(部会長) 正副部会長で答申案を作成するので、次回の部会で皆さんにご議論いただきたい。

3 次回の日程について

- ・ 7月8日(火) 午後2時から 上田市役所 南庁舎5階 第3、4会議室

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。